

作成日:2009年6月1日

改訂日:2011年3月25日

## 安全データシート

### 【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名 カチオンパワー  
会社名 二瀬窯業株式会社  
住所 〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669  
担当部署 技術部技術課  
電話番号 0948-22-0447

### 【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類 全ての項目に「分類対象外」又は「分類できない」

### 【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 混合物  
化学名または一般名 スチレン・ブタジエン共重合ラテックス  
成分及び含有量

成分	含有量 %	CAS No	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
スチレン・ブタジエン共重合体	28~29	登録あり	登録あり
ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル	1.4	9016-45-9	7-172
水	70~71	7732-18-5	—

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

第1種指定化学物質:政令番号410号 ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル

### 【4. 応急措置】

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹸で洗浄すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

目に入った場合 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。眼の刺激が続く場合は必ず医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませること。直ちに医師の処置を受けること。

応急措置をする者の保護 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用すること

### 【5. 火災時の措置】

消化剤 水、泡消化剤、粉末消化剤

特有の危険有害性 ラテックス状態では不燃である。乾燥物は可燃であり、燃焼ガスには、二酸化炭素、一酸化炭素等のガスが含まれるので、消化作業の際には煙を吸入しないように注意すること。

特定の消火方法 周辺火災の場合、移動不可能な場合は、容器、梱包及び周囲に散水して冷却する。  
着火した場合、火元(熱源)を断ち適切な消化剤を用いて風上から消化する。

消化を行なう者の保護 適切な保護具(保護手袋、保護眼鏡、保護マスク等)を着用する。

### 【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項・保護具および緊急時措置 作業の際は必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。こぼれた場所は滑りやすいため注意する。

環境に対する注意事項 製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように注意する。

除去方法 流路を毛布・土壌等を用いて堰き止め、大量流出の場合はバキューム等で汲み上げたり、硫酸バンド等の凝固固化剤を散布して凝固させ回収する。又少量流出の場合はおが屑・土砂・パーライト等を混ぜて回収する。

二次災害防止策 濡れた状態で放置すると滑りやすくスリップ事故の原因となるため、漏出物の上をむやみに歩かないこと。

**【7. 取扱いおよび保管上の注意】**

取扱い	
技術的対策	取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設ける。
局所排気・全体換気	屋外または換気のよい場所で使用すること。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
安全取扱い注意事項	保護手袋/保護眼鏡/保護衣を着用すること。 取扱い後は手洗い及びうがいを十分におこなう。
接触回避	【10.安定性及び反応性】を参照。
保管	
技術的対策	凍結、高温、直射日光を避け、屋内に貯蔵すること。
保管条件	気温 5～35℃の屋内で保管すること。 使用後は密閉して貯蔵すること。
安全な容器包装材料	内面コートされ金属容器及びプラスチック容器が望ましい。

**【8. 暴露防止及び保護措置】**

設備対策	取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器を使用する 取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設ける。
管理濃度	未設定
許容濃度	未設定
保護具	
呼吸器の保護具	有機ガス用保護マスク
手の保護具	不浸透性保護手袋(ゴム製等)
眼の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型)または保護面(防災面)
皮膚及び身体の保護具	帯電防止性能を有する、長袖、長ズボン及び安全靴

**【9. 物理的及び化学的性質】**

物理的状态	
形状	液体
色	乳白色
臭い	ほとんどなし
pH	7.0～8.0
融点/凝固点	約 0℃
沸点、初留点と沸騰範囲	約 100℃
引火点	データなし
燃烧または爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	約 1.0
溶解性	水に任意の割合に希釈可能
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

**【10. 安定性及び反応性】**

安定性	常温・常圧で安定であるが、電解質や凝集剤とは凝集を起す。
危険有害反応可能性	水禁忌物質との接触による反応
避けるべき条件	水禁忌物質との接触
混触危険物質	水禁忌物質
危険有害な分解生成物	特になし

**【11. 有害性情報】**

GHS分類に「分類対象外」又は「分類できない」

**【12. 環境影響情報】**

生態毒性

GHS分類に「分類対象外」又は「分類できない」

残留性/分解性

知見なし

生体蓄積性

知見なし

土壤中の移動性

知見なし

他の有害性影響

河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり白濁汚染することになる。

**【13. 廃棄上の注意】**

残余廃棄物

廃製品・廃容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

洗浄水等の処理は、地面や排水溝へそのまま流さず、凝集沈殿法、活性汚泥法等による。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去したあとに法規の規制に従って処理する。

**【14. 輸送上の注意】**

国際規則

国連分類

該当しない

国連番号

該当しない

国内規制

該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。

転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。

**【15. 適用法令】**

化審法 : 法第2条第6項 第3種監視化学物質 政令番号43号 ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法): 第1種指定化学物質 政令番号410号 ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル

**【16. その他の情報】**

本データシートは、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

また、弊社はMSDS記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、本データシートに記されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。